

2015年度 事業報告

1. 資源のリユース・リサイクルを推進する事業

1)事業の推進

目標にこだわりながら、各ショップと連携をはかって事業に責任を持ちました。

特に、中田店の閉店時には2ショップが協力して中田店の役割まで担い、また、リニューアルオープンには、実行委員会を組織して準備、セレモニーなどを企画し、WE21グループからのお祝い、韓国の協定を締結している慶尚南道地域自活センターからの横断幕のプレゼントがありました。3店舗連携したオープンは、事業に弾みがつきました。

今まで外税だった価格表示を9月の中田店オープンを機会に、内税表示にして解りやすくしました。

①中田：目標額 390 万円 事業高 4,286,211 円 達成率 109.9%

- ・7月に中田店リニューアルオープン実行委員会を立ち上げ、資金集め、広報、レイアウト、備品注文、引越し手配、アパートの荷物管理などの準備をタイムチャートで作成して話し合い、9/1引越し、2日備品納品、10日にオープンしました。
- ・9月は休まず営業してリニューアルを広く知らせました。オープンに際し、初めて中田店回り12000戸へのチラシ配布、ミニコミ誌掲載、生活クラブ組合員1300枚、デポ50枚など広報に力を入れたため、新しい客に繋がりました。
- ・オープン後は客単価も高く、またスロープのお蔭で子連れの若い女性も増えました。
- ・リニューアルした結果、ボランティアも増えました。
- ・1/19～2/16の5日間 就労支援を受け入れました。
- ・2/12 葛野小5年の児童が、総合学習のプロジェクトで来訪し、「廃油のリサイクル」をテーマにインタビューを受けました。
- ・リニューアルしたため、他地域からの見学が多くありました。

②領家：目標額 530 万 事業高 5,468,463 円 達成率 103.1%

- ・中田店が8月まで休業した為、上半期は4月、5月に半額セール、6月に食器セールを行い事業高に繋がりました。
- ・11月下旬に冬の半額セールの後、例年より早めに大掃除を行い、雑貨とアクセサリーのコーナーの棚を一新し、お買い物がしやすいレイアウトにしました。
- ・ボランティアが積極的に参加するようになり、スムーズなショップ運営ができました。
- ・スタッフはエリア連絡会に出席するようになり、近隣のショップの様子がわかり運営の参考になりました。

- ・広報紙「1・2・3」などの配布をボランティアに協力してもらい、近隣の地域にも撒きました。

③萩丸：目標額 460万円 事業高 4,755,628円 達成率 103.4%

- ・今年度から2人体制となりましたが、ボランティアの拡大が課題として残りました。
- ・セールチラシの数を増やしたところ、徐々に客数が増加してきました。特に10月以降は、客数、売上高共に前年を上回りました。
- ・お店と作業スペースとの境のロールスクリーンにプロのイラストレーターに絵を描いていただきました。「人が集まる」地域の拠点としてのメッセージを発信することができました。
- ・燻製作り、しめ縄作り、餅つきなど、お客さまをまきこんで自分たちの楽しむことが企画できました。
- ・「陽だまり」は地域の人たちにお茶会、健康麻雀、絵手紙、生活クラブイベントなどの場として利用されています。使用料金は支援事業の寄付に充てています。
- ・1/25～1/29 就労支援の受け入れをしました。

【期間】 通年

【場所】 泉区内のWE ショップ中田店、領家店、萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 14,510,302円

2) ボランティアミーティングの開催

①中田店

オープン準備を含めて4回開催しました。8/19はオープン準備のために、シフトアパルト作業などの確認をしました。(10/5, 11/30, 3/7)

②領家店

4月、8月、12月、3月と4回開催しました。

春は新しいボランティアも参加して親睦を図り、冬は主にシフトについて話し合いました。午後と土曜日のボランティア不足について協力をお願いした結果、良い方向に向かいつつあります。

③萩丸店

3回開催しました。特に1回は憲法改正や歴史教科書改訂の学習会を行い、共通認識を持ちました。また、貧困キャンペーンに合わせて、日本の貧困の現状を共有しました。

イベントとして中国式餃子作りをして異文化交流の場となり、今後も楽しいボランティア会議の企画をしていきたいと思えます。

チラシまきにも積極的に参加し、後半の事業高に反映しました。

【期間】 通年

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店、領家店、萩丸店

【対象者】 ショップのボランティア

2. アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業

通常の支援については、支援検討会で精査し、理事会で決定しました。また、ネパールの大地震被害の緊急支援に取り組み、「地球の木」に支援をしました。

①ネパール地震緊急支援

緊急支援として、5・6月に店頭募金に取り組みました。

【期間】 4月1日～5月31日

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店、領家店、萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 50,000 円

②その他通常支援についての詳細は資料参照

【期間】 通年

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店、領家店、萩丸店

【対象者】 カンボジア、バングラデシュ、日本などの社会的に立場の弱い女性や子どもたち

【事業高】 750,000 円

3. 地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業

1)キャンペーンの実施

①貧困なくそうキャンペーン。(10月)

今年度も国内の貧困をテーマにして、DV被害者の自立を支援している「共同の家プラン」を支援先に決定しました。プランとコラボしてチラシを作成し、地域にまきました。

店内展示と当日はクイズをしました。

【期間】 10月1日～10月31日

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店、領家店、萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 113,222 円

②愛のチョコ募金キャンペーン

継続して取り組んだことと、ポスターの展示などをした結果、1月末日に完売しました。また、大口購入のお客も増えました。

【期間】 12月～1月

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店、領家店、萩丸店

【対象者】主に泉区の市民

【事業高】75,000円（150個）

③東日本震災キャンペーン（3月）

いわきツアーの報告も兼ねて各ショップでパネルを作成して展示しました。また支援先は昨年同様に福島の子どもたちのリフレッシュ事業を推進しているNPO法人ふくしま支援・人と文化ネットワークに決定しました。

【期間】3月1日～3月31日

【場所】泉区内のWEショップ中田店、領家店、萩丸店

【対象者】主に泉区の市民

【事業高】105,314円

2) 共育事業

①講座の開催

支援先の情報を共有するための講座の開催、また他地域と協同して講座の企画をしました。

【期間】

7/31 ザ・ピープルの吉田恵美子理事長によるWE講座開催

8/25 「CAE活動報告」

10/23 ネパール「震災とジェンダー」

11/7 JVC とぶっちゃけ話そう

3/25 福島の今

【場所】泉区及び横浜市内の施設

【対象者】主に役員

②スタディツアーの参加

他地域主催のいわきツアーに参加して、まだ復興とは程遠い現状を視察し、HPや広報紙への掲載をしました。またパネル作成などをして振り返りをすることができました。

また、カンボジアの女性たちのエンパワーを啓発するツアーに参加し、女性の社会参加を促すことが出来ました。

【期間】9月23日（いわきツアー）、3月19日～26日（カンボジアツアー）

【場所】福島県いわき市及びカンボジア

【対象者】役員やボランティア 9人

【①②事業高】97,583円

3) 招聘事業

国内外の方々を招聘して、地域の人たちと交流を図りました。

【期間】

- ・7月28日 藤沢主催のブルキナファソのイベントに協賛して滞在費の一部を拠出しました。今まで支援することのなかったアフリカについて理解をすることができました。
- ・11月4日 協定を結んでいる韓国・慶尚南道地域自活センターのセンター長が来訪し、互いの活動を共有しました。

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店、藤沢店

【対象者】 主に役員 15人

【事業高】 89,475円

4) フェアトレードの販売

ジンジャーティーの常時販売に加えて、いわき市の物産を販売しました。

【期間】 通年

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店、領家店、萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 52,089円

5) ネットワークを広げて、問題解決を図ります。

①10/2「貧困なくそうシンポジウム」の開催

他の WE21 地域 NPO と連携して開催しました。他地域と合力となり良い結果に繋がりました。国内の貧困をテーマしたシンポジウムは、一般参加者も多く、120人以上の参加があり、大変良い結果となりました。

②地域市民団体、企業との連携を図りました。

「トムトムの家」と連携して段ボール回収や「WE 油田」で家庭の廃油回収をしました。

③生活クラブ泉コモンズのイベントなどを実施しました。

- ・生活クラブ組合員の出資金残高確認の場として「陽だまり」を活用しました。
- ・コモンズのまつりに萩丸が出店して、アピールしました。
- ・コモンズ主催、緑園デポと共催で「小さき声のカノン」の上映をしました。230人の参加が得られ、大変好評でした。今後は、生活クラブ運動グループが協力してイベントを開催することも地域への発信力が高まると痛感しました。

④小学校への啓発、若者の就労支援に取り組みました。

4. 事業の広報普及を図る事業

- 1) ショップちらしや広報紙を充実させ、発行しました。

- ・ 昨年同様に「1・2・3」を年3回発行しました（9月、12月、2月）。
発行部数を増やし、活動を知らせるために、地域に配布するようになりました

＜各 3,000～5000 枚＞

- ・ 冬のセールの一斉ちらしを作成し、広く地域に配布しました。その結果が売上向上につながり、ちらしまきの重要性を確認しました。

2)HP を充実させました。

「ワーコレほっとリンク」と HP 制作及び管理の契約を結び、充実を図りました。6月に完成し、その結果大変見やすい HP となり徐々に HP を見ての来客も増えてきました。

3)リーフレット

今年度は横浜市の夢ファンドの助成を申請し、次年度に作成することになりました。

【期間】 通年

【場所】 主に泉区内

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 557,513 円

5. 組織活動

1) 会員拡大

目標 60 人でしたが、51 人に留まりました。新会員 3 人加入しましたが、脱退者も見られるようになり、一層の拡大が課題です。

2) 社会的な課題を解決するために、提言活動に取り組みました。

- ① 平和な社会を構築するために非戦ネットへ賛同し、またさまざまなイベントに参加しました。

*5.3 憲法集会@横浜

*女の平和集会

*8・30 10 万人国会包囲集会

- ② 署名活動に取り組みました。

- ・ 原発避難者の住宅支援打ち切り撤回署名、
- ・ 戦争法の廃止を求める署名

3) 理事会を開催し、事業に責任を持ちました。

- ・ 理事研修を開催し、WE21 はずみの役割と目指すことについて討議し、共通認識を持ちました。（2/29 賛川理事「チェリティーショップネットワークの役割」）
- ・ 毎月情勢の特徴を共有しながら、事業の点検評価や非営利活動などを討議決定しました。
- ・ コンプライアンスを決定し、HP に掲載しました。
- ・ 会計の按分の方針を決定しました。